

会議録

会議名称	平成23年度 鯖江市地域公共交通会議
開催日時	平成24年1月26日(木) 午後1時30分～午後3時
開催場所	鯖江市役所 4階第一委員会室
会議資料	会議次第 委員名簿 鯖江市地域公共交通会議設置要綱 平成23年度つつじバス運行事業概要および実績について (資料No.1) 平成24年度鯖江市つつじバスダイヤ改正について(資料No.2) 平成24年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)の申請について(資料No.3)
出席者	湧口会長(鯖江交通安全協会) 大久保副会長(鯖江市区長会連合会) 山本委員(鯖江高速観光(株)) 上田委員(鯖江交通(株)) 仲保委員(越前観光(株)) 加藤委員(つつじ(株)) 清水委員(鯖江地区ハイヤータクシー業会) 伊藤委員(福井鉄道(株)) 窪田委員(鯖江市老人クラブ連合会) 前田委員(鯖江市連合婦人会) 橋本委員(鯖江市PTA連合会) 平谷委員(随員:本田氏)(国土交通省中部運輸局福井運輸支局) 小林委員(鯖江警察署) 藤田委員(福井県総合政策部交通まちづくり課) 岩井委員(福井県丹南土木事務所鯖江丹生土木部管理用地課) 為沢委員(福井県交通運輸産業労働組合協議会) 辻本委員(鯖江市) 計 18名
欠席者	野本委員(社団法人福井県バス協会) 山内委員(鯖江市壮年グループ連絡協議会) 加藤委員(鯖江商工会議所) 計 3名
事務局	中村課長、関本参事、峰田主任、川崎主事 計 4名

1 開会・委員紹介

○事務局より委員・事務局の紹介、設置要綱の説明。

2 報告事項

平成23年度つつじバス運行事業概要および実績について…資料No.1

○事務局より説明。

【伊藤委員】

利用状況をみると、毎年度増加していることがわかる。最近のことでいえば、平成22年度に行った回数券購入者にチョコQをプレゼントする事業において、回数券の販売枚数が対前年比較19%増となったことも利用者が増えた要因の一つと考えられる。20万人の利用者を達成するために、このような利用促進事業などは考えているのか？

【事務局】

昨年度はバスを低床型にし、デザインも変更して全面的に新しくした。小さいお子さんを中心に人気のあるバスになった。それに併せて、国の経済政策的な支援メニューよりチョコQを作成し、1年間限定のキャンペーンとして実施した。平成22年度の利用者の増加はこれらのことが理由となる。様々な利用促進事業を行っているが、ゆくゆくは自然増になっていくのが理想である。今年度はチョコQのようなキャンペーンはないが、現時点においても、昨年度以上の利用がある。そういったことから、デザイン、おもてなしなど、全てが受け入れられている結果なのだと感じている。

来年度については丹南病院のリニューアルを含めて、新しい路線を作るので、路線でのサービス向上をはかりたい。まちなかのイベントなどがあれば、ほかの団体などと連携しながら、キャンペーン的なことをしていきたい。特に福鉄、JRなどの公共交通機関との連携をすすめていきたい。

3 協議事項

①平成24年度鯖江市つつじバスダイヤ改正について…資料No.2

○事務局より説明。

【伊藤委員】

鯖浦線についても、お客さんの利用の声があれば、病院内に乗り入れることも考えている。神明方面からの乗り入れの際には、道路をまたがなければいけなくなり、危険があることも十分考えられる。こういった場合の注意事

項等があれば、教えていただきたい。

【事務局】

バスロータリーには2台ずつ縦列できるスペースがあり、合計4台が駐車できるようになっている。このあたりについては、車道と同じように、アスファルト舗装される。また、歩道については従来の歩道を拡幅し、現在の倍の幅となる。歩道の段差はなく、車道とフラットになる。バスの出入りの箇所は歩道を横断することになり、そのことについて心配されていると思うが、その箇所については、横断歩道のような色分けをするような対策を考えている。歩道の延長部分であるということマークして明確にしていきたい。運行される業者については、十分に安全確認をしていただきたい。

【大久保委員】

一般車の出入り口について、歩道との境界線はどのようになっているのか？

【事務局】

この部分については、現在計画段階であるので、どういったかたちになるかは未定だが、先ほどと同じように車道との段差はないと聞いている。この部分についても色分けするなどの対策をとる予定である。

【橋本委員】

現在のバス停の位置あたりは、中央中学校の西門になっている。通学路であり北進する自転車の生徒は左側通行ということで、このあたりは自転車の横断が非常に多くなることも考えられる。6時台になると帰宅時間帯となり、中学生にとってはとても危ないと思うので、そういったことにも配慮していただきたい。

【事務局】

この件については関係機関と相談し、横断等の交通安全面については危険がないように十分配慮したい。

【藤田委員】

バスロータリーについては、ポールを立てたり、アスファルトの色分けをするなどして、一般車両が入ってこれないような対策をとるのか？具体的にはどのような設計になっているのか？

【事務局】

バスロータリーの具体的な中身については、現在も検討中である。バスロータリーについては、車道と同じにならないように、しっかり分けて、危険がないように対応する予定である。

【平谷委員】

丹南病院へのアクセスについて、現在30回だったのが59回に増える。外構工事が完了し、実際にバスロータリーを利用するのが10月1日からだが、ダイヤについては4月1日から変更する計画だと思う。今までの便数より、倍の便が丹南病院に行くわけですが、10月1日までの工事期間についてのバス停についてはどこに設置する予定なのか？

新しくつくる歴史の道線については、社会実験ということですが、どれくらいの期間をみているのか？その線を運行する時間帯というのは、地域住民の要望をとりいれ、利用の多い時間帯を設定したのか？

【事務局】

丹南病院工事期間の停留所の配置については、工事の箇所によって、仮設の場所がどこになるのかは随時検討していかなければいけない。関係機関と十分協議し、最善の位置におく予定である。

歴史の道線の試行期間について、私どもとしては最長3年をみている。地元の方には、1年間でしっかり乗れる方を確保してもらいたいと考えている。その中で、改善するところなどがあれば、地元の方を交えて協議し、状況をみながら改善していきたい。

車両についてはジャンボタクシーのあいている時間を活用するということをも地元の方々にも提案した。鯖江駅から丹南病院に向けて、2便、その後、逆方向に帰りの便として2便を計画している。これらについては、地元の方の要望に沿ったものとしていて、地元の方の了解もとっている。丹南病院に行きたい人・JR鯖江駅に行きたい人の要望に、丹南病院の受付時間を加味した設定の便となっている。

→質疑応答終了 **【承認】**

②平成24年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダーシステム確保維持費国庫補助金）の申請について…資料No.3

○本田運輸企画専門官（国土交通省中部運輸局福井運輸支局）、説明

【湧口会長】

事務局としては、新しくつくる歴史の道線にあてたいと考えているのか？

【事務局】

そういうふう考えている。

4 その他

【湧口会長】

このようなボランティアの団体といったこともあり、会長、および副会長に何かあるといったことがあるかもしれないので、もう一人副会長がいるとよい。

5 閉会